



THE SERVICE CLUB OF THE Y.M.C.A.
THE Y'S MEN'S CLUB OF NANZAN



- 国際会長主題 「私たちの未来は、今日から始まる」
アジア会長主題 「ワイズ運動を尊重しよう」
西日本区理事主題 「ワイズ魂で更なるワイズの活性化を！」
中部部長主題 「出会い、ふれあい、響きあい、前へ進もう」
クラブ会長主題 「楽しい集いを YMCAと共に」

2017年3月

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

会 長 杉山 弘時 副 会 長 深尾 俊雄 書 記 荒川 文門
会 計 森本 征夫 直前会長 都築 正和 連絡主事 東田 美保



今月の聖句

「主はわたしの光、わたしの救い わたしは誰を恐れよう。」

詩編 27 : 1

第一例会

3月例会案内

日 時 : 3月14日(火) 19:00~21:00
卓 話 : 「小学校の子供たちの困難さ・学校から見える家庭」
講 師 : 岡崎 勝 氏
場 所 : 南山YMCA
担 当 : 都築

今月は、グランパスクラブとの合同例会です。講師には小学校で教えられ、子育てを忘れかけている世代に対して社会と教育と家庭という永遠の課題を改めて提起して頂く岡崎先生をグランパスクラブの御骨折りでご紹介いただきました。久しぶりの卓話で楽しみにしてください。時間厳守で出欠は、都築さんの方まで3月9日(木)までに連絡して下さい。

第二例会

日 時 : 3月16日(木) 19:00~
場 所 : 南山YMCA
協議事項 1. 4月例会案
2. 次期クラブ役員発表
3. その他

2月第一月例会報告

日 時 : 2月9日(木) 19:00~21:00
場 所 : 南山YMCA
出 席 : 浅井、荒川、小林、近藤、杉山、都築、深尾、森本、東田

2月第一例会はTOFの日で食事なしで世界の上に苦しむ多くの子供たちの事を思う機会を与えました。プログラムとしては、切実な問題である「近い将来の南山ワイズを考える会」で色々な意見を出し合いました。近々回ってくる中部部長の問題、目下のところ部



2月報告	在籍9名	第1例会出席	第2例会出席	メイクアップ	出席率
		9名	9名	0名	100%

長候補または立候補もなくこれを受けないとなると中部の中でも立場は無くなり消滅、解散の道しか残されないのかも知れません。そうなればワイズ活動はできなくなりますが、せめてチャーター50周年までは存続したい、というのがメンバー一同の願いでもあります。西日本区との関係を持たないで、YMCAのサポート活動を探る道は無いのか、とか解散しかない、とか色々な意見が出されました。一度この件に関して中部部長なり、理事なりの考えを伺うのも一考かなと思いますが、1、2年後に迫っている切実な問題で早急な答えが望まれます。今後時間を見て話し合っていく必要がありそうです。

2月第二例会報告

日 時：2月16日（木） 19:00～

場 所：南山YMCA

出 席：浅井、荒川、小林、近藤、杉山、都築、深尾、森本、東田

- (1) 3月例会の確認 グラフ・スクリーンとの合同例会
- (2) 次期会長・主査研修会に深尾次期会長が出席
日時 3月18日、19日
- (3) かみさわ保育園 クラシックコンサート
南山クラブも昨年同様後援する。
- (4) 3月以降のプログラム確認

名古屋YMCA第5回チャリティーウォーク

－3. 11東日本大震災を決して忘れない－

月 日：3月11日（土） 10:00～

集 合：地下鉄名城線 東別院1番出口

参加費：1,000円

名古屋市によって設置された「杉原千畝 人道の道」等約5km歩きます。この後久屋大通公園での「3.11東日本大震災被災者追悼式」に参加も可能です。

卒業リーダー感謝会

月 日：3月20日（祝） 14:30～

場 所：南山YMCA

参加費：3,000円

かみさわ保育園開園3周年記念コンサート

月 日：4月1日（土） 14:00～

場 所：かみさわファミリーYMCA 3Fホール

農場報告

6月の収穫を目指して、久しぶりにジャガイモの植え付けをしました。12月に植えたタマネギもそろそろ葉を伸ばし、農場にも春の訪れが感じられるようになりました。

雑感「ピンチはチャンス」

森本 征夫

先日テレビ番組で、建設会社の特集をしていました。そこに務める大工さんや、とび職は一流大学の出身者で、中には女性もいました。「大工が必ず不足する。」と考えた社長が逆転の発想で、社員として抱えてしまったとの事。確かに時間がかかるものの、あえて手間暇をかけていく事が企業として強くなっていくという論調です。

「匠の技」「経験と勘」「職人気質」・・・。とかくアナログと軽んじられていますが。習得していくのに時間がかかるアナログがこれから脚光を浴びる気がしてなりません。数値だけではできない微妙な「そり」や「いがみ」であったり、「視覚や味覚」であったり、「デザインや色全て人の目」、こうした経験を育成していく事が実は「ものづくり」として生き残っていく事になるのだと感じました。

例会出席表

		2 / 9 第 一 例 会	2 / 16 第 二 例 会
1	浅井 昭和	○	○
2	荒川 文門	○	○
3	小林 滋記	○	○
4	近藤 豊	○	○
5	杉山 弘時	○	○
6	都築 正和	○	○
7	東田 美保	○	○
8	深尾 俊雄	○	○
9	森本 征夫	○	○